新フォトの使い方(編集編)

1 画像(写真)編集

画像の編集機能を使うには、フォトのメイン画面に写真が表示されている状態で、編集した い写真を1枚だけクリックして選択①します。すると、新たに「編集」ボタン②が表示され ます。この編集ボタン③をクリックすると、写真の編集画面④が開きます。





【画像の編集画面】 ④ ★編集機能の「トリミングする」 ⑤ が自動的に選択されています。



(1) トリミングする

☑ IMG_1120.JPG – □ ×
2 3 4 Q Q □ J±ット 9 Q ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
- 1 「トリミングする」機能のアイコンです。
2 画像の拡大や縮小ができます。
● 画像を拡大 ❷ 画像を縮小 ❸ 実際のサイズ
3 「画像で実行したすべての編集をリセット」します。
④ 「元に戻す」● 「やり直す」
5 「ドラッグするか、方向キーを使用して
画像を回転」
● のスライダー●を左右にドラッグす
ることにより画像の角度2を自由に変え
られます。



⑥ 画像の縦横の比率●を決めてトリミングできます。

画像の上には、「縦横の比率」2と「画像のサイズ」 3 が表示されます。

				2 4: 3 4032 x	3			0		
බ			0							>
自由	オリジナル	正方形	9:16	16:9	4:5	5:4	3:4	4:3	2:3	
				完	ĩ					

⑦ 画像を 90 度回転する



●画像を反時計回りに 90 度回転
 ②画像を時計回りに 90 度回転

8 画像を反転する



画像を水平方向に反転
 画像を垂直方向に反転

- 98個のハンドルをそれぞれドラッグまたは矢印キーを使用して画像をトリミングします。
- 💵 編集した画像を保存します。



- ●「コピーとして保存」は、編集した画像を保存先のフォルダーを指定して新たな画像ファイ ルとして保存します。
- 2 「保存」は、元の画像ファイルを上書き保存します。
- ③「クリップボードにコピー」は、画像をクリップボードにコピーして、他の場所に貼り付けることができます。
- 「キャンセル」をクリックすると、編集画面から元の画面に戻ります。

★ デスクトップの壁紙用に縦横の比率を「16:9」①でトリミングしてみました。緑の枠 線が元の画像②で、赤の枠線がトリミング後の画像③になります。



(2) 調整



「調整」 1の画面です。右側にあるのが画像調整できる項目(メニュー) 2 です。

【各調整メニューの説明】

● 「明るさ」

明るさを「高」にするとハイライト部分が広がり、「低」にするとシャドー部分が広がります。 この機能を使えば、例えば、天気が曇った日に撮った暗めの写真を、晴れた日に撮った写真 のように加工することができます。

2 「露出」

「露出」とは、写真をフィルムから印画紙に焼き付けるときに照射する光の量のことです。 露出を「高」にすると、色みを残しながら全体的に明るくすることができ、露出を「低」にす ると、色みを残しながら全体的に暗くすることができます。

3 「コントラスト」

「コントラスト」では、画像の「明るい部分」と「暗い部分」の「明るさの差」を調整できま す。コントラスト「高」にするとくっきりメリハリが効いた写真になり、コントラストを「低」 にするとやわらかく落ち着きのある写真になります。

「ハイライト」

「ハイライト」では、写真の中の明るい部分だけを暗くすることができます。「写真全体では なく、明るい部分だけを暗くしたい」というような場合に便利な機能です。

5「シャドー」

「シャドー」では、写真の中の暗い部分だけを明るくすることができます。「写真全体ではな く、暗い部分だけを明るくしたい」というような場合に便利な機能です。

6「ふちどり」

「ふちどり」では、写真の周辺部の光量を調整することができます。ふちどりを「高」にす ると、写真の周辺部に黒っぽくふちどりを付けることができ、低」にすると、周辺部を白っ ぽくふちどりすることができます。

7 「彩度」

「彩度」では、「色の鮮やかさ」を調整できます。彩度を「高」にすると、ビビットな色にな り(例えば、緑ははっきりとした緑になる)、再度を「低」にすると、カラーのない白黒に近 くなります。

8 「暖かさ(温かさ)」

「温かさ」では、色温度を調整することができます。温かさを「高」にすると色を赤色系へ 寄せることができ、「低」にすると青色系へ寄せることができます。

9「濃淡」

「濃淡」では、色の濃淡を調整することができます。濃淡を「高」にすると色を赤紫色系へ 寄せることができ、「低」にすると緑色系へ寄せることができます。

🕕 「鮮明度」

「鮮明度」では、写真全体のシャープさを調整して、鮮明にしたりぼんやりさせたりするこ とができます。 (3) フィルター

フィルター機能とは、写真の色合いをモノクロやセピア風などに変更できる機能です。 フィルターの種類や強度を設定することで、少ない手順で写真全体の色合いを修正すること ができます。

① 「フィルター」 ① の画面です。右側にあるのがフィルターの種類 ②です。



 いずれかのフィルター種類のサムネイルをクリックすると、中央の画像がそのフィルターを 適用した結果に変わります。

なお、適用したいフィルターのサムネイル 1をクリックすると、直下に、フィルターの強さ を調整できるスライダー「強さ(1~100)」 2が現れるので、ここで適用するフィルター の強さを調整することができます。



(4) マークアップ

「マークアップ」では、ペンを使って画像に文字やイラストを自由に追加することができます。 ①「マークアップ」①の画面です。画像の一番下にあるのがマークアップの種類²です。



② ペンを使って、画像に文字やイラストを自由に追加することができます。



「ペン1」1、「ペン2」2、「蛍光ペン」3は、ボタンをクリックすると、色の変更や太さの 変更を行うことができます。





(5) 生成消去(AI 処理)

画像の中の消したい部分をブラシで大まかになぞると、AI が消したい部分の輪郭を自動で判断して消し去り、さらにその消し去った跡を回りの背景で埋めてくれる機能です。

← IMG_1120.JPG					- 0 ×
Q Q II Utyr	9 C t	× 7	a 2	総 保存オプション >	キャンセル
				生成消去 2 ^{プレビュ} 自動適用) () 72
				© ブラシのサイ 4 ズ	34

- ① 「生成消去」 のボタンをクリックします。
- 「生成消去」の機能が表示されます2。「自動適用」3をオンにして、「ブラシのサイズ」4
 を設定します。
- ③ 画像の消したい部分をブラシで大まかになぞります
 ⑤。
- ④ これで、AI が自動で消したい部分を判断して消し去り、さらにその消し去った跡を回りの 背景で埋めてくれます。

(6) 背景処理(AI 処理)

「背景処理」 **1** 機能を使うと、写真の背景の輪郭を自動で判別して、背景をぼかしたり、背景を削除したり、背景を別の色に置換することができます。



- ① 「背景処理」ボタン①をクリックします。
- ② AI が写真の背景の輪郭を自動で判別し始めます 2。
- ③ 背景輪郭の自動判別が完了すると、「成功!画像の背景が見つかり、選択されました。」
 ③ のメッセージが表示されます。
- ④「ぼかし」
 ④をクリックすると、背景が元々あった色で全面にぼかしたように塗りつぶされます。

← IMG_1120.JPG							- • ×
Q Q II Utyk 9 P	ц. 🔅	ę	la	Ø	《將 一 保存:	オプション 🗸 🗸	キャンセル
			_	*****		プレビュー 	プレビュー 一 置換
k.	(() ぼかし強度	_	42
	un de la compañía de	\smile					
			6 m.		✔ 背景ブラシ	ツール	() 77
and an and a second						背景のリセット	
	12						
		100					

 「削除」
 をクリック すると、背景が削除 されて透明になりま す。



 ⑥ 「置換」
 ⑥ をクリック すると、背景に置き 換える色を指定する 画面が表示されて、 色を指定すると、背 景がその色で塗りつ ぶされます。



2 保存オプション

フォトで編集した画像(写真)は、保存オプションから「コピーし て保存」 **①**を選択して、別名で保存しておきましょう。

保存するときのファイル形式は、透明画像の使える PNG 形式 にしておきましょう。



- 3 ファイルサイズの変更
 - 「…」(もっと見る)1 から、「画像のサイズ変更」2をクリックします。



 「サイズ変更」ウィンドウが表示 されます。
 単位1、幅・高さ2、品質3、フ ァイルの種類4を設定し、最後 に「保存」ボタン5をクリックし ます。

★これでサイズ変更の完了です。

	サイ	′ズ変	更		
🔘 ピクt	zh 1 🔾	パーセ	ソト		
幅 (px)	2	ī	高さ (px)	
1280		Θ	720)	
品質: 10	0% (高)	3		ファイルの種	類
				JPG 4	~
現在:	2560 x144	0 ピク1	211	1016.3 KB	JPG
現在: 新規:	2560 x144 1280 x72	0 ピク1 0 ピク1	2N 2N	1016.3 KB 649.9 KB	JPG JPG